テレビ番組「ライフ・ライン」主催、地域の各キリスト教会協力で

『クリスマス・ライブ「音楽と聖書の夕べ」TVライフ・ラインのつどい』in富士宮

24日 富士宮市民文化会館で

24日（金）午後7時から富士宮市民文化会館小ホールで、テレビ番組「ライフライン」主催の『クリスマスライブ「音楽と聖書の夕べ」』TVライフラインの集い』が催される。

テレビ番組「ライフライン」は毎週土曜日午前5時から5時半まで静岡第一テレビで放映されている番組で、24日に市民文化会館小ホールを会場に開催の「クリスマスライブ『音楽と聖書の夕べ』」TVライフラインの集い」では、講師の関根弘興氏（小田原市の城山キリスト教会牧師。「ライフライン」の司会者、ラジオ番組「世の光」のメッセンジャー）が番組の視聴者向けに聖書のメッセージを語り、音楽ゲストの安武玄晃氏がサックス演奏で音楽のタベを盛り上げる。ライブは収録され、番組で放映が予定されている。

サックス演奏の安武玄晃氏は「音楽のための人生ではなく人生のための音楽」を心がけ世界中でサックスを奏でている。ブライダル奏者・音楽療法奏者・サックス指導者としても活躍、ライブツアーでは全国で演奏活動を展開、東日本大震災復興活動で避難所でのライブやCD売上の一部寄付なども行っている。

『音楽と聖書の夕べ』の入場は無料（安武玄晃氏のCD販売も行う）、問い合わせは富士宮キリスト教会（☎㉖5360）、神田川キリスト教会（☎㉗9400）まで。

ライフラインは、全国で放送され、静岡県地区では2万世帯以上で視聴され、国内最高視聴率を保っている。今回の集会は、今泉キリスト福音教会、神田川キリスト教会、城山キリスト教会、富士川教会、富士シオンチャペル、富士クリスチャンセンター鷹岡チャペル、富士宮栄光キリスト教会、富士宮キリスト教会、日本基督教団大宮共立教会、日本基督教団富士宮教会、富士宮リバイバルチャーチ、各教会の協力で開催される。

数多くの来場を呼びかけている。

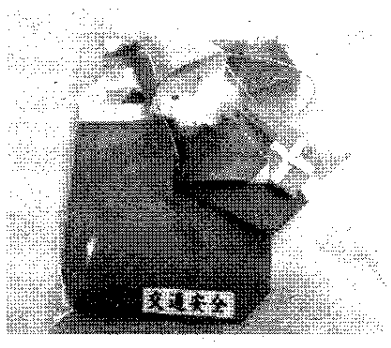
富士宮高校会議所に「平和の折鶴」届く

富士宮高校会議所に届けられた『平和の折鶴』を手にする中村真緒会頭

海軍機関特務少尉・渡邉常勝さんの遺族女性2人が平和の折鶴運動を続け高校会議所支援の思いを込めて贈る

「名前も告げずに届けていただいたんですよ」と、富士宮高校会議所の中村真緒会頭が笑顔で語っている。

「富士宮高校会議所」は18日、事務局としている西町レトロ館前で「第2回おはなし会」を開いた。「耳からきく昔話の楽しみ」と題して開いた『おはなし会』では、市内の小学校などで子どもたちにお話を語っている富士宮市市民読書サポーターが物語の語り手となってグリム童話・日本の昔話・タイの昔話・富士宮の昔話を語って、席を埋めた人々を楽しませた。



「おはなし会」来場者に届けられたサンタの折り紙

定員の30人を大きく超える地域の人達や一般市民が訪れ盛況を博した『おはなし会』では、来場者にサンタの折り紙（交通安全の祈りを込めた）が配られ話題を集めた。

サンタの折り紙と共に、事務局には「平和の折鶴」と題した折鶴をセットにした折り紙台紙も届けられた。おはなし会に訪れたついでに「高校会議所の皆さんが頑張っているから事務所に飾って欲しい、と名前も告げずにお届けいただいたんです、来場の人たちにクリスマスプレゼントにしてもらえばとサンタの折り紙も沢山いただいたんです」と中村会頭が語ってくれた。

取材した記者が「平和の折鶴」の贈り主が本紙で取材したご婦人たちであることを告げると、中村会頭は「ありがとうございます。これでお礼をお話できます」と即座に「おはなし会」の席に座っている贈り主の元に飛び込んでいった。

『平和の折鶴運動で』

高校会議所に「平和の折鶴」と来場者プレゼント用にサンタの折り紙を贈ったのは、富士宮で「平和の折鶴運動」を広げている渡辺秀由さん（木目込み人形など手工芸創作・指導者）とお姉さんで、第2次世界大戦・太平洋戦争開戦直後にオーストラリア北部ダーウィーン沖で英国・米国連合軍の攻撃により撃沈された旧日本海軍「伊124号潜水艦」に乗船していた海軍機関特務少尉・渡邉常勝さん（富士宮市野中出身）の遺族である2人の女性が、オバマ大統領の広島訪問で折った千羽鶴の折鶴をきっかけに「平和の折鶴」活動で進めてきた中で製作したもの。

渡辺さんら遺族の女性2人は、子どもたちに平和の祈りを伝える運動として広げたいと、世界各国の国旗を折鶴にして「平和の祈り」を込めた折鶴セットの飾り物を仕上げ市内の学童保育クラブへ贈る活動も行ってきた。

渡邉常勝さん遺族の女性2人は、昨年のオバマ米国前大統領が被爆地ヒロシマ訪問で広島平和記念資料館に自ら折った折鶴を「共に平和を求め、核兵器のない世界を追求する勇気を持ちましょう」とメッセージを込めて贈ったことに感動して、「私たちも次代を担う子どもたちに平和の折鶴を手渡そう」と『平和を祈る折鶴』を地域の子供たちへ贈る活動を始めたもので、今年夏には渡邉常勝さんが潜水艦と共に海底に眠るオーストラリア北部ダーウィーン沖のダーウィーン市に「北部準州豪日協会（日豪交流団体）」により沈没潜水艦の乗員を追悼する慰霊碑が建立されたこともあり、2人は、『平和を祈る折鶴』をさらに広げようと沢山の折鶴を折って、多くの子どもたちや人々に手渡してきた。

『伝統の紙技伝承を』

渡邉常勝さん追慕の思いと平和を祈って折ってきた千羽鶴はこれまで相当数に上っているが、2人は日本の伝統の手工芸でもある「紙技・折鶴」を子どもたちに楽しんでほしいとの願いを平和の祈りに重ねて、世界各国の国旗を文様にした折鶴を形にして飾り置物にして子どもたちが目にする場所（地域の学童保育クラブなど）にプレゼントする活動を行ってきたもので、富士宮高校会議所への贈呈もその運動の一環と思われる。

中村会頭は「最初、名前も告げずに届けていただいたので、なんとしてもお礼をお話したかったので、贈り主が渡辺先生とお姉さんと知ることができてよかった」と笑顔で感謝を話していた。

「佐野敬祥＆佐野良夫第2回バリトンとハーモニカの調べ」

26日に芝川文化ホール「くれいどる芝楽」で開催

26日（土）午後2時（開場1時半）から芝川文化ホール（くれいどる芝楽）で「佐野敬祥＆佐野良夫第2回バリトンとハーモニカの調べ」が開かれる。

教育家（前富士宮市教育長）の佐野敬祥さんがバリトンを、音楽指導者で教育家の佐野良夫さんがハーモニカを、ピアニスト・音楽指導者の塩川美香子さんのピアノ伴奏で「バリトンとハーモニカの調べ」で音楽の楽しみをひろげる。入場は無料だが整理券が必要。

コンサートでは、会場のくれいどる芝楽の駐車場が数に限りがあることから周辺施設での駐車ともなるため、主催関係者は来場の人にできるだけ乗り合わせての来場を呼びかけている。

富士圏域精神保健福祉連合会・はばたきの会

心のくもりを吹き飛ばそう

～響く太鼓と心に沁みるハーモニー～

25日 ロゼシアターで

富士圏域精神保健福祉連合会・はばたきの会（鈴木貞男会長）は25日（土）午後2時から富士市ロゼシアターで三島市出身・在住の全盲プロ太鼓奏者・片岡亮太さんを招いた「太鼓とトーク」、富士市出身の双子デュオ「ぴのん」の歌で『心のくもりを吹き飛ばそう～響く太鼓と心に沁みるハーモニー～』を開催する。

主催のはばたきの会では「音楽の演奏を楽しみながら、片岡さんの障害を乗り越えて力強く生きている姿を見ていただくことにより多くの人に感動と勇気を与え、障害に対する理解を深めていただけるものと確信します」と多くの来場を呼びかけている。

故・若林フジさん尊い光残す

富士宮ライオンズクラブ通じ献眼

富士宮ライオンズクラブ（石川正会長）は20日、同クラブを通じて市内三園平1244の故・若林フジさん（95）が献眼したことを発表した。

若林さんは17日に逝去、本人の遺志で尊い献眼をされた。若林さんの通夜は22日に行われ、告別式はきょう23日午前9時から富士葬祭三園平で行われる。告別式で、ライオンズクラブ国際協会334―C地区ガバナー岩崎一雄氏並びに公益法人静岡県アイバンク協会理事長堀田喜裕氏から感謝状が贈られる。富士宮ライオンズクラブでは「ライオンズクラブ献眼運動にご理解を示され、目の見えない方に尊い光を与えて下さいました」と感謝を語っている。

お誕生おめでとう

佐野結菜（学）淀師
長野紫凰（公也）大岩
大野歩叶（泰正）万野原
新田

暴行・暴力行為等処罰で逮捕

富士宮警察署は21日午前10時17分、茨城県牛久市の土木業松岡弘（70）を暴行・暴力行為等処罰に関する法律違反で逮捕した。

松岡被疑者は10月3日、富士宮市淀師地先において、茨城県土浦市の64歳の会社役員に対し、顔面を殴打する等の暴行を加え、更に黒田地先で刃物を示して脅迫した上、頭部を殴打する等の暴行を加えたもの。